

在来線車両による鹿対策（衝撃緩和装置）の運用状況について

近年、在来線列車と野生動物との衝突が増加しています。特に当社管内では鹿との衝突が多数発生し、列車の遅延や車両の破損、対応する社員の負担などが生じています。

当社ではこれら問題点の軽減を図ることを目的として、鹿と衝突した際に線路の外に押しのける「衝撃緩和装置」を開発しました。今年5月より順次、紀勢線を走行する特急「ワイドビュー南紀」の一部車両に取り付け、効果の検証を進めてきましたので、これまでの実績と今後の計画についてお知らせします。

1. 衝撃緩和装置の設置状況

紀勢線 特急「ワイドビュー南紀」（キハ85系）先頭車4両に設置

非連結タイプ：2両



連結タイプ：2両
(車両同士の連結を考慮したタイプ)



衝撃緩和
装置

2. 衝撃緩和装置設置車両の鹿との衝突状況

10月末までの鹿との衝突件数は14件でした。そのうち13件で、鹿を線路外へ押しのけることができました。

3. 今後の計画

衝撃緩和装置による一定の効果が認められましたが、引き続き走行実績を積み重ね、効果の検証を進めていくとともに装置の耐久性などの確認を行っていきます。また、更なる衝突実績の蓄積のため、今年度中に連結タイプの衝撃緩和装置を2両分、追加導入します。